

# 夏季合宿活動報告

神奈川県三浦半島の和田長浜海岸にやってきました。この海岸は、遠浅で波も穏やかで、磯観察にはもってこいの場所です。この日は、空に薄く雲かかっている、柔らかな日差しのなか、じっくりと生物採集が出来ました。



岩に打ち上げられている魚を発見！



近くの岩場にもいくつかの群れが発見されました。カモメがたくさん集まっていて、この魚を狙っているようでした。



簡単に捕まえることができました。鱗がたくさん剥がれている、、なぜ？

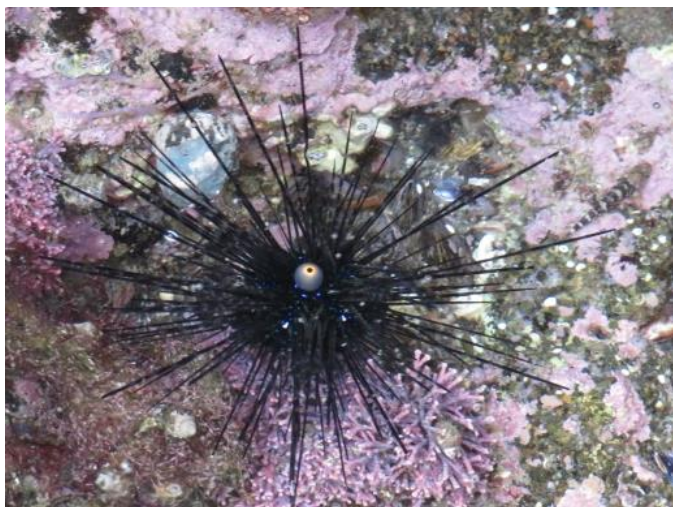
調べてみると、この魚は「カタクチイワシ」。鱗がたくさん剥がれるのは、敵を欺くためなんだとか。その一方、鱗が剥がれるため体表が傷つきやすいという弱点があります。「魚へん」に「弱い」と書いて「鰯」。読んで字のごとく、弱々しい魚のようです。



岩場にはたくさんのヤドカリが見られました。ヤドカリはエビの仲間で、巻貝の貝殻に体を収め、貝殻を背負って生活する甲殻類です。食べたら美味しいのかな？



こちらはガンガゼ。一見ウニのようですが、ヒトにとっては大変危険な生物です。長い棘に毒があり、刺さると激しい痛みをおこすのだそうです。見た目はこんなに綺麗なのに、、、



岩の下には、ヤツデヒトデやイトマキヒトデがたくさん見つかりました。ヒトデは、海水のなかではこんな風に、管足(触手のようなもの)を伸ばします。管足内部には液体が入って伸び縮みをし、運動や感覚などに関わります。



岩の裏側にウミシダ?を発見。



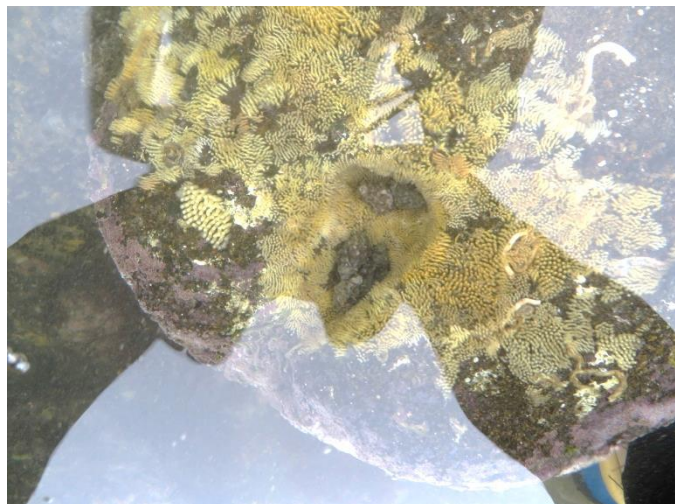
濡れた岩場には、たくさんのウミウシが！ウミウシは、生息環境によって色が異なるそうです。確かに、岩の色や模様にとっくりで、近づくまで全く気が付きませんでした。



岩場の藻をたくさん食べてたくさん糞を出していました。下の写真の穴は肛門です。



岩の表面に何やら黄色いものを大量に発見。。。なにかの卵のようです。



拡大するとこんな様子。これはイボニシの卵だそうです。



これはマダラウミウシ?のようです。産卵していますね。



ヒトデの上にウミウシを乗せると白い粘液を多量に分泌しました。この粘液は、おそらくヒトデが出していると思われます。ヒトデもウミウシも相当嫌がっている様子。このウミウシは普段は陸に生息し、ヒトデは水中に生息するので、普通であれば出会わない者同士です。それと関係があるのでしょうか。。。。



合宿でたくさんの生物と出会えて、とても充実した時間を過ごすことができました。ごはんもとても美味しかった！ありがとうございました♪

